

議会だより

Vol.
237

ふじえだ市議会だより
令和8年2月号

令和7年12月22日に藤枝市役所にて
消防団との意見交換会を開催しました。

関連記事9ページ



団員確保が困難なため
団員の待遇を改善してほしい。

仕事しながらやっているが、
地域を守りたい気持ちしか
ありません。



消防出初め式の様子

改めて抱えている課題を考
える良い機会となりました。

トピック

P 2・3 …… 議会から市へ提言／
定例月議会概要

P 4 …… 一般質問

P10 …… 令和7年度 行政視察報告

P11 …… 静清高校生との意見交換会

P12 …… 2月市議会定例月議会日程／常任委員会審査レポート



藤枝市議会ホームページ

市の主要事業における成果や課題の整理、施策の評価を2つの常任委員会で行い、以下の項目を「提言書」として市長へ提出しました。

健康福祉教育委員会

- ① 人口減少対策における支援について
- ② 藤枝市立総合病院の経営について
- ③ 公立中学校の部活動の地域移行について
- ④ 孤独・孤立対策について

※建設経済環境委員会は、2月に提出予定です。



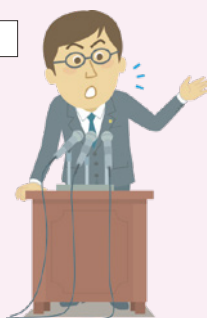
提言書は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

令和7年11月定例月議会の概要 日程:11月25日～12月18日(24日間)

令和7年11月定例月議会で審議した市長提出議案27件、議員発議案1件について、全議案とも原案どおり可決されました。

市長提出議案(第70号議案～96号議案)

- 予算案件(令和7年度補正予算) 10件
- 条例案件 14件
- その他案件 3件



※各議案については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。



第70号議案～第84号議案



第85号議案～第96号議案

pick up!

◆「令和7年度藤枝市病院事業会計補正予算(第2号)」(第74号議案)

高額医薬品等の使用増加及び物価高騰の影響による材料費の増額を行う。



◆「藤枝市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」(第80号議案)

生後6か月から満3歳未満の教育・保育給付を受けていない児童を対象に月10時間を上限として、就労要件を問わず、保育所などで保育する事業であり、その設備基準や運営に関する基準を定める。



◆ 藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例(第91号議案)

藤枝市議員報酬等審議会の答申に基づき、議員報酬の額を一律5%程度引き上げる改定をするとともに、令和7年8月7日付けの人事院勧告に基づき、国家公務員に対する給与の改定措置が行われることに伴い、本市の市議会議員の期末手当を改定する。

令和8年度 予算編成に向けて、議会から市へ提言



総務委員会

- ① シティプロモーションの視点転換
— 「市民が誇れるまち」に向けた
インナープロモーションの推進 —
- ② 公共施設の在り方の見直し
- ③ 防災体制の強化と次世代の担い手育成

議員発議案

発議案第20号 森の力再生事業の継続を求める意見書

静岡県に対して、令和7年度で第二期が終了する「森の力再生事業」およびその財源である「森林（もり）づくり県民税」について、現行計画と同等の規模で、令和8年度から令和17年度までの延長を要望しました。



令和8年1月臨時議会報告 日程：1月9日（1日間）

令和8年1月臨時議会が開催され、国の「強い経済を実現する総合経済対策」に伴い、長期化する物価高騰の影響を受けている市民を支援するとともに、市内消費の活性化や拡大につなげるため、本市独自の市民生活応援商品券の配布に必要な経費や、子育て世帯に対して、物価高対応子育て応援手当による支援を行うための「令和7年度一般会計補正予算（第8号）」（第1号議案）が上程され、原案のとおり可決されました。

令和7年度一般会計補正予算（第8号）

◆オリジナル商品券による市民生活の支援 ————— 11億2,100万円

国の「重点支援地方交付金」を活用し、長期化する物価高騰による市内消費の落ち込みを緩和するとともに、購買活動の活性化による消費拡大につなげるための支援

- ・対象者：藤枝市の住民基本台帳に登録がある市民（令和8年1月1日現在）
- ・金額：1人あたり7,000円分（1,000円分の商品券×7枚）
- ・配布時期：4月以降（予定）
- ・利用期間：6月～12月（予定）



◆物価高対応子育て応援手当による子育て世帯の支援 ————— 4億4,500万円

長期化する物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯に対して、こどもたちの健やかな成長を応援するための支援

- ・対象者：児童手当支給対象児童（令和7年9月30日時点）を養育する父母等
※対象児童には、令和7年10月1日から令和8年3月31日までに生まれる新生児を含む
- ・金額：児童1人あたり2万円（平成19年4月2日から令和8年3月31日に出生した児童）
- ・支給時期：令和8年2月10日（火）から順次支給を開始します。



一般質問

11月定例月議会の一般質問は、
12月3日(水)、4日(木)、5日(金)の
3日間にわたり行われました。

●議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。

●一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

●市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継



会議録検索システム

兵太夫中地区の水路氾濫対策について



日本共産党
石井 通春 議員



問 台風15号の被害を2日かけて伺った。もう少し雨が降れば逃げ場がなく命に関わるなど深刻だった。平成25年議会で改善を求め、市長自ら調査した上で、一定の対策がなされたが、昨今の雨量では対応できなくなっている。

答 地域住民の意見を聴き、実情に合った改善方法の検討を進める。

駅北再開発事業とBiviの再興について

問 まちづくりは住民が主体となって進めるべきであるが、複雑な仕組みの再開発事業は、不動産会社(デベロッパー)が主体となる。

答 9街区の再開発は、複数の主要な権利者が中心となり進める、法令に基づく適正な事業である。ある地権者から話を聞いたが、「最後まで、誰が言い始めたのか判らなかった」との声である。

問 1人でも反対者がいれば、事業を進める事をしていないように手続を行っている。

問 Biviの空きテナントは市民の関心が高い。土地は市が所有、ビルは大和リースが所有。テナント代は大和リースの収入だが、駅前一等地の公有地を売却することなく、商業テナントとしてスタートした。

答 女性や若者に訴求力のあるキーテナントを誘致し新装開業を目指す。年度内には方向性を示す予定。

シビックプライド醸成とシティプロモーションについて



藤のまち未来
増田 克彦 議員



問 藤枝のシティ・アイデンティティをどう定義しているか

答 「藤枝らしさ」は、「ほどよく都会。ほどよく田舎。」に集約され、都市機能の利便性や進化による「まちの躍動感」、溢れる自然や人の温かさ、文化など「豊かな暮らし」を表している。

問 現状のシティプロモーションの取組は?

答 定住・来訪人口の拡大を目標に、4K施策やスマート・コンパクトシティなど強みを活かした土台づくりと、ロゴマークやふるさと納税などを活用した戦略的プロモーションを進めている。

問 シビックプライドの醸成、インナープロモーションをどのように展開していくのか

答 定住・定着を重視し、愛着と誇りを持ち、まちづくりに関わりたいと思える環境づくりを強化する。市民参加型事業などで共感を高め、内外両面の戦略的プロモーションを展開していく。

問 庁内の体制整備や横断的な連携強化は?

答 来年度、民間から「地域戦略アドバイザー」を登用するとともに、広報課内に「広報プロモーション戦略担当」を新設する。

問 「選ばれるまち藤枝」の実現に向けた構想は?

答 「選ばれる」ためには安心・活躍・成長が必要であり、その土台づくりとともに、市民の誇りと発信による好循環を生み出し、移住戦略や新たな戦略で選ばれるまちづくりを前進させる



藤のまち未来
川島美希子 議員



市内小中学校の「チーム担任制」について

問 令和7年度に西益津小と高洲小の5・6年生に導入した経緯について伺う。

答 教員と児童の間で接し方が難しい場合でも関係性が続くことや教科指導の質を高めづらいという課題から、複数の教員が一つの学級をローテーションで担当するチーム担任制を導入した。

問 チーム担任制についての今後の考えを伺う。

答 試行的であり小学校高学年のみで、学校が総合的に判断して導入するかを決定する。中学校では導入する予定はない。

問 「チーム担任制」の評価はいかがか伺う。

答 児童、保護者からもおおむね好評だが、仲間意識の醸成に時間を要する等課題も見えた。

戦没者慰霊碑について

問 慰霊碑の維持管理が困難になった遺族会に対する支援、国の補助について伺う。

答 遺族会・地元で意向を検討いただき、撤去や移設など方針が定まれば国の制度の活用を含め可能な限り必要な支援に取り組む。国の補助制度は今年度から事業費の上限が200万円に増額され、100万円まで補助され、移設や埋設に加えて補修も可能となったが、事業実施は市となるため、地域の皆様の事情を丁寧に向い、必要な支援に取り組む。

議員のひとこと

戦没者の皆様の勇気と献身に心から感謝申し上げます。



藤のまち未来
岡村 好男 議員



高柳清掃工場跡地の活用と地域まちづくりは！

問 高柳清掃工場解体のスケジュールについて伺う。

答 大規模解体のため現在スケジュールや財源確保等含め県と協議中であり、決定次第対策委員会に報告していきます。



問 昭和五十六年に対策委員会と交わした確認書（地域振興と生活環境整備）の進捗を伺う。

答 高洲スポーツ広場の整備や周辺道路の拡幅等を行った。広場のナイター設備設置や廃棄物兵太夫最終処分場の廃止については今後協議していきます。

問 今後の跡地の在り方と窓口について伺う。

答 本市としては跡地を含むこの地域の振興に繋がるよう高洲地区の土地利用構想を踏まえ地元の声を聞き施策の検討を進めます。また窓口については対策委員会のご意見等を踏まえ適切な部署を構えて対応をしていきます。

問 地域振興まちづくりと高柳地区の市街化区域に隣接する調整区域の土地利用について伺う。

答 高柳地区の人口密集地区は、広域交通アクセス性も良く産業立地や住宅ニーズが高い地区と考え、先行する高岡地区や築地地区の効果を検証し手法の検討を進めていきます。

議員のひとこと

四十一年余に亘る高柳清掃工場の無事故・無災害記録は対策委員会と職員のチェック機能であり、まさに金字塔です。



藤新会
大石 心平 議員



市内の小中学生の教育環境と健康について

問 「藤枝型デジタル機器活用ガイドライン」の策定について見解を伺う。

答 デジタル機器の活用ガイドラインを速やかに策定し、こども・保護者・家庭への普及・啓発に努める。

問 学校でのICT機器利用時の姿勢に配慮した物理的な環境整備の考えを伺う。

答 成長期の児童生徒の健康に配慮し、机の広さや視線の高さなど、より良い利用環境となるよう財政面も含めて検討する。

問 医療機関との連携強化の考えを伺う。

答 志太医師会と連携し検査機器を導入し、脊柱側弯症の早期発見に努める。

問 家庭に向けICT利用の支援や啓発強化について伺う。

答 「藤枝つ子スマホ・ゲーム機安全宣言」をリニューアルし、家庭と連携した啓発を進める。

議員のひとこと

ICT教育と子どもの健康保持を両立させることは、将来世代の健全な育成のために避けて通れない課題です。こどもたちが安心してICTを活用できる環境を今後も実現して頂きたいと考えます。



藤新会
深津 寧子 議員



これから求められる移動ニーズと 地域交通政策の今後の展開について

問 地域公共交通計画の5年間で振り返る中で、現在の成果と課題をどのように認識しているのか。また、住民から寄せられた移動ニーズや意見を、今後の計画や公共交通ネットワークの見直しにどのように活かしていくのか伺う。

答 路線の延伸や乗合タクシーの導入などにより利便性の向上が図られた一方で、認知度の低さや乗継ぎが不便であるなど課題も確認された。市民アンケートの結果も踏まえ、公共交通ネットワークの拡充と利用促進を行う。引き続き、デマンド運行やデジタル技術の活用により、効率的で持続可能な交通体系の維持、確保・拡充を図る。

介護予防の推進と人材育成について

問 フレイル期における介護予防の重要性が高まる中で、支援につながりにくい方への対応が課題となっている。地域での参加型活動や相談支援の充実について、市の考えを伺う。

答 介護予防では、多面的な課題を早期に把握し対応することが重要である。市と生活支援コーディネーターの連携により、地域では「ふじえだアクティブクラブ」などの住民主体の参加型活動が進んでいる。相談につながりにくい方についても、市と関係機関が連携し必要な支援につなげている。今後も地域全体で介護予防を推進していく。



藤新会
山川 智己 議員



来年度予算編成方針と 今後の市政経営について

問 本市独自の少子化対策の進捗と成果は？

答 経済的安定として新産業の創出や拠点づくりを、出産・子育て環境の充実として伴走型支援や保育施設の充実に努めてきた。これらの取組により、昨年度は出生数が増加に転じ、子育て世代も転入超過となった。

問 本市の財政状況は？

答 未来への投資となる大型事業に計画的かつ着実に取り組んでいる一方、社会保障費の増加や物価・人件費の高騰、市債残高や公債費の増加により、財政運営は厳しい状況を迎えている。

問 来年度の予算編成方針は？

答 「未来へ繋がる、持続可能な藤枝の実現」をテーマに、将来への成長に繋がる実効性の確保に取り組む。全事業総点検シートによる事業の見直しや、部別包括予算の一般財源額に対する3%のシーリング等を行い、当初予算規模は昨年度から増額となる680億円を見込んでいる。

議員のひとこと

昨今の社会経済情勢により、本市の予算編成や市政経営も例外なく厳しい状況下にあります。しかし、このピンチをチャンスに変えるられるよう、市民のための事業の見直しや新たな取り組みを推し進めましょう。



公明党
大石 保幸 議員



新年度からの 個別計画（案）に関連して

問 令和8年度から始まる地域福祉計画の中の「重層的支援体制整備事業計画（案）」は、本市にとって初めての計画となるが、推進体制を伺う。

答 地域の多様な主体が参画する「重層的支援会議」に、県のアドバイザーである専門家も加え体制を強化して推進していく。

問 次期「耐震改修促進計画（案）」では、申請者の一時的な費用負担を軽減する「代理受領制度」が位置付けられているが、実施時期を伺う。

答 令和8年度からの実施を検討している。

問 木造住宅の耐震改修には多額の費用が掛かることから、補助額を拡充することは出来ないか。

答 制度創設当初の30万円から現在の100万円まで段階的に補助額を拡充して市民の費用負担の軽減に努めてきたが、建設資材の高騰などもあることから、来年度から補助額の拡充を進めていきたい。



奨学金返還への支援について

問 県では年度途中から県市町・中小企業が連携しての「中小企業等奨学金返還支援制度」を開始した。本市も参加をしていく事は出来ないか。10月から始まった制度だが、来年度からの実施に向けて県と連携して取り組んでいく。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



不登校や学力低下問題等と 次期「学習指導要領改訂」

〔問〕令和6年度実施の『経年変化分析調査』（3年ごとに実施し、毎回同じような問題を出す）が非公表。全国で抽出された小学6年生と中学3年生が解答の結果を国が分析。その結果は全教科、全学年に渡り下がった。本市はこの要因は何と考えるか伺う。

〔答〕「経年変化分析調査」は、対象校も非公開であり、本市の傾向等は確認できない。なお、毎年実施する「全国学力・学習状況調査」の市独自の分析結果では、ここ数年、小中学校共に国や県を上回る大変良好な結果であり、質の高い授業を積み重ねてきた結果だと考えている。

〔問〕次期「学習指導要領改訂」が近づいている。教育課程の柔軟化による「調整授業時数制度」の創設により生み出される時間を、子どもたちの力となるよう、岡部中学校で伝統的に行っている総合的な学習「馥郁（ふくいく）」を市内で広められないか伺う。

〔答〕子どもたちが、実社会や実生活の中で課題を見つけ、情報の収集・整理・分析を行い発表することにより、生きる力や社会への参画意識をこれまで培ってきた結果、この考えは、今では市内の小中学校に広まっている。今後の教育課程の柔軟化により生み出される時間を活用し、本市の子どもたちが探求する力を身に付け、豊かな未来を築くことができるよう取り組んでいきたい。



日本共産党
さとうまりこ 議員



女性トイレの行列問題について

〔問〕本市の主な公共施設を調べたところ、男性用トイレの方が多かった。生涯学習センターでは、「女性トイレで洋式が少なく混雑して困る」という声が出ている。改善を急ぐべきではないか。本年度中に、一階トイレ2か所を洋式化。後、段階的に洋式化する。

〔答〕各公共施設でトイレの数と利用者数を試算すると、全て洋式化できても、男女の待ち時間の差は女性の方が4・5倍程長い。既存トイレではスペースに限り。イベントによっては男性用の一部を女性用にするなど、利用者の意見を聞いて男女格差の改善を研究する。

藤枝市の公共施設トイレの状況抜粋 (単位: 基)

施設名	男性用			女性用	男女比
	小便器	個室	合計	個室	
市役所本庁	31	16	47	21	2.2 : 1
全市立小中学校合計	1,060	465	1,525	1,063	1.4 : 1
市民会館	16	7	23	15	1.5 : 1
市民ホールおかべ	16	5	21	14	1.5 : 1
生涯学習センター	15	6	21	15	1.4 : 1

〔問〕生涯学習センターで和式トイレには手すりの設置をしていただけないか。

〔答〕設置を検討する。

〔問〕災害時の避難所トイレも心配。女性トイレは男性用の3倍必要（国際基準）と、周知啓発の強化を。

〔答〕資機材へのシールやステッカーの表示、公共施設等のトイレへの表示もできるところから進めていく。



藤新会
植田 裕明 議員



病院経営の今後について

〔問〕病院事業の次年度予算編成の概要

〔答〕人件費、物価高騰が病院経営を圧迫している。現段階では費用が収益を上回る厳しい収支見通しだが、創意工夫による収支改善に取り組むとともに、次回の診療報酬改定や経営アドバイザーによる経営健全化に向けた提案なども勘案し、メリハリのある予算編成をめざす。

〔問〕経営健全化への道

〔答〕地域連携により安定した患者を確保する集患対策や病床運営の適正化、業務量に応じた適正な人員配置など、あらゆる手立てを行い、職員一丸となって、経営健全化に取り組んでゆく。

健康・予防日本一について

〔問〕お塩チェックで、効果適塩〃事業の実情

〔答〕高血圧対策として本事業を実施し、令和5年度、昨年度とも、約1万1千人が受検の結果、男女ともに国の目標値より約2g摂り過ぎていた。減塩意識の醸成と行動変容の促進により、高血圧対策に引き続き取り組んでゆく。



〔問〕がん対策推進条例のさらなる充実化

〔答〕平成30年から令和4年の女性のがん死亡者が全国と同規模自治体で一番少なく、本条例の大きな成果となっている。



藤新会
数崎 正幸 議員



自動運転技術を活かした地域交通と産業振興について

問 少子高齢化や免許返納などにより市内の至る所で今後不足が予想される。また新東名藤枝岡部インター付近への企業誘致も考え、本市に市街地から郊外へ向かう瀬戸川や朝比奈川沿いの道路の自動運転特区を設けてはいかがか？

答 自動運転技術は地域交通の維持・確保の課題を根本から解消する有効手段の一つと考える。またアクセス性の高いインター周辺への産業誘致も本市の将来に向け進めていきたい。また次世代モビリティの活用も考えている。

世界的な抹茶ブームを活かした抹茶ブランドの確立を！

問 本市は世界に誇れる朝比奈玉露の産地であるとともに朝比奈・市之瀬地区は静岡県の抹茶生産の元祖である。いま世界中で注目されている抹茶だからこそ藤枝・朝比奈地区を抹茶の産地としてブランド化し世界中に知れ渡る藤枝抹茶・朝比奈抹茶を作ってはいかがか？



答 抹茶の産地ブランド化に取り組んでいく。

議員のひょうひょう

どちらもとにかくスピード感が大事。民間感覚で臨機応変になるべく早く！



藤新会
油井 和行 議員



国民健康保険事業の運営について

問 現在の国民健康保険事業の評価について

答 一人当たりの医療費の増大や、団塊世代の後期高齢者医療への移行の影響により、基金を取り崩して対応した。厳しい状況下でも、過去十三年間国保税を据え置きながら、必要な医療給付費等の財源を確保し続けた。加入者負担の抑制と制度の持続性の確保に向けた取組を着実に進めてきたと評価する。

問 今後の国民健康保険財政の見通しについて

答 高齢化の進展や医療の高度化、物価や人件費の上昇を見込んだ来年度の診療報酬の改定により、一人当たりの医療費は更に増加すると見込まれる。国保制度の安定運営に深刻な影響を及ぼす恐れがあると認識している。

問 財政運営の健全化への取り組み方針について

答 医療費適正化を図るための保健事業の充実、収納率向上に向けた取組の強化、国や県による制度的支援の活用など、総合的かつ多角的な施策を着実に進める。

問 国民健康保険の引き上げについて

答 高齢化の進展等により、自治体の努力だけでは持続が困難な構造的な課題が深刻化し、後期高齢者支援金分や介護保険分の財源不足が顕著。来年度からは「子ども・子育て支援金分」の徴収が開始され、新たな負担が加入者に生じることとなり、現行の税率では財政均衡が困難となる見込み。国保財政の安定確保には、税率の引き上げを早急に検討せざるを得ない状況にある。



藤のまち未来
八木 勝 議員



市民の誰もが使えるAEDについて

問 本市公共施設で24時間利用可能なAEDの設置台数は

答 夜間・休日を問わず24時間利用でき、AEDは51台あり、その他24時間営業のスーパーマーケットや一部のドラッグストア等でも利用可能。既に市内全ての小中学校や中山間地域の消防団詰所2ヶ所には屋外型AEDを2台設置済み。今後は、屋外型のAEDの設置を進めるとともに、24時間利用可能なAEDの地区別の設置状況をHP上公式LINEで周知する。

藤枝大祭りにおけるICT活用検証と今後の展開について

問 屋台位置サービス(GPS)の導入効果と検証について何う

答 屋台位置のリアルタイム表示により来訪者の移動計画に役立ち、混雑分散と安全性向上に寄与した。利用は前回比2割増と好調な一方、表示の見やすさに課題があり、今後多言語化や混雑ヒートマップなど機能拡充も含めて実行委員会に提案していく。

問 情報発信強化に向け観光DX基盤を活用した今後のデータ連携・分析について何う

答 データ活用と人材育成を進め、業務効率化とサービス高度化を図り、誰もが便利で快適に暮らせるまちづくりを目指す。



藤枝市公式LINE QR



藤枝市HP QR



藤のまち未来
寺田亜記子 議員



感染症大流行と地域医療について

問 昨年末の医療ひっ迫の検証と改善について

答 昨年度の医療ひっ迫を受け、手洗いやマスクなど基本的な感染対策を早期から周知した。加えて、薬局と連携した啓発用品の配布や、市ホームページ・広報による備蓄の呼びかけを行い、医療ひっ迫緩和に取り組んでいる。

問 オンライン健康医療相談アプリ「HELPO」について

答 「HELPO」は24時間365日相談でき、急なこどもの体調不良などへの不安軽減に役立っている。今後は、健診や健康イベントで積極的に紹介して多くの市民の方に利用して貰いたい。

問 救急医療の適切な利用や理解について

答 広報での周知、救急の日の街頭啓発などを実施している。引き続き、必要な人が必要な時に受診できるよう、地域の救急医療体制の維持に努める。

問 家庭医療センター藤枝みんなのクリニックが地域の在宅医療体制にどう貢献するのか

答 在宅医療や看取りを担う医師の育成を進め、入院から在宅まで一体的に支援できる体制を整える。市民向けの説明会や広報で役割を丁寧に伝え、地域の身近な医療拠点として市民の安心に繋げていきたい。

議員のひとこと

藤枝市で安心して暮らし続けたい。そんな想いに寄り添えるまちをこれからも市民の皆様と一緒に目指していきます！



藤のまち未来
平井 登 議員



被災者空き家仮住まい制度など 空き家対策の高度化について

問 賃貸型応急住宅制度は、民間の賃貸住宅を被災地の自治体が所有者の承諾を得て借り上げ、被災者に仮住まいとして提供するもので、事前登録が勧められているが、本市の登録状況を伺う。

答 現在、県に登録されている藤枝市内での空き室・空き家はない状況である。

問 県内21市町で1717戸の登録がある。本市として、なぜ宅建業者にに対し被災者支援のための本制度を重視し、登録推進されないのか伺う。

答 いち早く安全な仮住まいを被災者に提供することは大事である。HP等で「賃貸型応急住宅」の事前登録制度を周知し、宅建業協会や移住定住支援団体「resonance」との連携を図り事前登録につなげていく。

求められる

竹林対策事業（市単）の見直し



問 本事業は放置竹林の皆伐及び林種転換を対象に補助してきているが特産のタケノコ振興となる竹林再整備（再生）等に方針転換したらどうか

答 タケノコ産地として有効となるので再生事業についても森林環境譲与税を財源に検討していく。

議員のひとこと

タケノコ特産地の再興に向け、放置竹林の再整備や伐採竹の資源化に取り組む生産者、企業、団体等も支援されたい。

消防団との意見交換会を開催

令和7年12月22日

災害発生時の消火活動や交通誘導はもちろんのこと、防災訓練や地域イベントへの参加、火災予防の啓発活動など、さまざまな活動を通じて私たちの暮らしを守る消防団の皆さんと意見交換を行いました。

日々の活動において課題となっていることや、解決に向けた声を伺う機会となりました。



総務委員会行政視察

令和7年10月23日 千葉県千葉市

内 容 千葉市スマートシティ推進ビジョンについて

千葉市は『みんなでつくる「快(こちよく) 適(ちようどいい)」なまち』を目指し、スマートシティ推進ビジョンを令和4年3月に策定。あらゆる分野を市民目線で5つに分類し、市民ニーズや地域課題に基づく様々な取り組みを分野横断的に推進している。

令和7年10月24日 神奈川県相模原市

内 容 さがみはらみんなのシビックプライド条例について

将来もいきいきとしたまちであり続けるために、市と関わりのある皆さんのシビックプライドを高めることを目的として、「シビックプライド条例」を全国の自治体で初めて制定した相模原市の、継続居住促進、認知度向上、転入促進などの取り組みを学んだ。



相模原市行政視察のようす

健康福祉教育委員会行政視察

令和7年10月23日 愛知県尾張旭市

内 容 認知症対策(「あたまの元気まる事業」)について

尾張旭市は、認知症高齢者の割合の増加により、軽度認知前段階の「軽度認知障害(MCI)」の早期発見・対応として、平成25年から『あたまの元気まる』事業(脳の健康チェックテスト)に取り組んでいる。令和6年度にVR(バーチャルリアリティ)を使用した認知機能セルフチェックにリニューアルしたことで、受験者時間も短くなり、簡易的な結果がスコアとしてすぐに確認できることなどから利用者数も増加し、理解が広まっている。



尾張旭市行政視察のようす

建設経済環境委員会行政視察

令和7年10月22日 三重県津市

内 容 津市大門・丸之内地区未来ビジョンについて

国交省の「官民連携まちなか再生推進事業」を活用し、令和5年に「津市大門・丸之内地区未来ビジョン」を策定した。お城公園など広場をイベント会場にする、シェアサイクルなど移動手段を導入する、空き家や空き店舗の実態調査で出店を支援する、地域ホームページの作成、公共空間の清掃美化など5つの目標をきっかけ様々な取り組みを行っている。

自治会、商工会、商店街、などとチームを組んで事業を行っているが、どうしても官主導となり、お膳立ては市がほとんど行っているのが課題であるとの事であった。



津市行政視察のようす

令和7年10月23日 愛知県知立市

内 容 知立駅周辺整備事業について

交通の要衝である事から市の人口は増加を続けている一方で、駅前広場は狭く、周辺には自動車も入れない狭い住宅もあり、渋滞も慢性化している事から、鉄道高架化(愛知県施行)と一体となる形で駅北再開発事業が進められている。

ビルを作る再開発と同時に、駅周辺の区画整理事業も並行して実施しており、狭い路地や鉄道高架化による踏切の解消など、広範囲での再開発が行われていた。

議会改革特別委員会行政視察

内 容 議会改革の取り組みについて
議会基本条例の検証 他

令和7年10月27日 東京都多摩市議会

議会基本条例に「おおむね4年ごとに検証する」と定め検証サイクルを作成。4段階評価を行い、会派で意見集約し議論は議会運営委員会で行う。「決算と予算の連動」についても、議会基本条例に明記しており、事務事業評価の政策サイクルを実施。評価する際の「事業評価カルテ」には、人件費についても記載しており、決算審査の前には代表監査委員による監査内容の講評を実施している。

令和7年10月28日 千葉県成田市議会

議会基本条例の検証は4年のサイクルで実施されており、現在は3回目を行っている。議員任期3年目に検証シートで各条項を評価し、4年目に必要に応じて改正を協議する流れが確立されている。検証体制は内容により異なり、議会の機能強化については議会運営委員会が、広報広聴に関する条項については広報広聴委員会がそれぞれ担当する組織体制となっている。



成田市行政視察のようす

広報広聴委員会行政視察

令和7年11月6日 三重県松阪市

内 容 市議会だよりのウェブ版、議員と話す会、
議員と話す出前トークについて

松阪市議会は、対話重視の「議員と話す会」や少数制の「出前トーク」を導入し、市民の声を聞く環境を構築。市議会だよりの改善やWEB公開、職員主体の動画配信など、予算を抑えた広報も特徴である。意見を政策に繋げる仕組み作りが課題ですが、「即実行し改善する」姿勢や正副議長が関与する推進体制は取組を継続的に推進する上で重要な要素である。



松阪市行政視察のようす

令和7年11月7日 三重県伊勢市

内 容 議会ツアー、高校生議会について

伊勢市議会は全議員参加型の体制で改革を推進している。小学6年生対象の「議会ツアー」や、聴取を重視した「高校生との意見交換会」など、学校教育と連携した主権者教育が特徴。若者の意見を政策へ繋げる仕組みや運営負担が課題だが、既存の機材を活かした配信手法や議会全体の改革姿勢は本市の参考になると感じた。

静清高校生との意見交換会を開催

令和8年1月9日

静清高校の文理探究科の生徒25名が来庁しました。当日は、高校生が総合的探究の時間でテーマとしている「介護福祉」、「防災」などの6グループにわかれ、議員と意見交換を行い、グループごとに出た意見をまとめ、議場にて発表しました。

生徒たちの感想

市議会は市のために色々やっているなと思いました。

話していてもとても話しやすかったです。

これから藤枝のことを任せたいなと思いました。



藤枝市選挙管理委員会より お知らせします

**令和8年4月30日任期満了に伴い、
藤枝市議会議員選挙が行われます。**

■ 選挙期日の告示日／4月12日(日)

■ 投 開 票 日／4月19日(日)

問い合わせ 藤枝市選挙管理委員会 電話：643-3818

2月市議会定例月議会

2月定例月議会は、2月16日から3月19日までの32日間で開かれる予定です。

2月 16日 本会議1日目(☆)
議案上程等
26日 本会議2日目(☆)
代表質問
27日 本会議3日目(☆)
一般質問
3月 2日 本会議4日目(☆)
一般質問・議案質疑等
3日 現地審査

4日 予算委員会①
5日 予算委員会②
6日 予算委員会③
9日 常任委員会
10日 予算委員会④
11日 予算委員会⑤
19日 本会議5日目・採決等(☆)



藤枝市議会ホームページ

本会議、委員会は予約なしで傍聴可能です。
☆は、藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。

常任委員会審査レポート ピックアップ!

総務委員会

第83号議案

藤枝市朝比奈活性化施設の指定管理者の指定について

現在、この施設の指定管理者となっている「玉取むらづくり会議」を、令和8年4月1日から5年間、引き続き指定管理者として指定するもの。

現地審査を実施し、現状の活用状況等の確認を行うとともに、委員会では地域の方と協議をしながら、運営を継続できるような体制づくりを進めていくことなどを確認し、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



健康福祉教育委員会

第82号議案

藤枝市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

病床数の変更、訪問看護事業や家庭医療センターの設置等に伴う改正であり、現在改修工事中の家庭医療センター設置場所の現地審査を行い、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



建設経済環境委員会

第70号議案

令和7年度藤枝市一般会計補正予算（第6号） 岡部町内谷地区工業用地関連道路整備事業費

藤枝岡部町内谷工業用地の造成工事や都市計画道路三輪立花線、焼津岡部線の整備に伴い、新たな用水路と市道（農道）が必要になるため、用地買収を行い、用水路と農道（市道）の付替え工事を実施するものである。現地の状況、今後の計画などについて確認し、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決

